

We Love

インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合

Internet People



このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの方の参加をお願いします。

Let's Access!!

Shouting!

編集部のみなさん、こんにちわ。今、「現代用語の基礎知識」が選ぶ「'95日本新語・流行語大賞」発表のニュースを見ていたら、トップ10に「インターネット」が入っていました。やっぱりなあ。大賞をとった「無党派」「がんばろう神戸」「NOMO」に比べると、インターネットマガジン愛読者の僕には「インターネット」が一番流行した言葉です。だって電車の中で、インターネット、インターネットって呪文のように言ってるオヤジがいるじゃないですか、あ、それは

僕か。ほかには何ですか、「ライフライン」「安全神話」「DA・YO・NE・MAICCA(ま、いっか)」「変わらなきゃ」「官官接待」「見た目で選んで何が悪いの」ですか。うーん、やっぱりマスコミの考えることはなんか古くなくてピンとこないなあ。僕にとってはやっぱりハルマゲドンとかだなあ。まっいいか。あ、いっけない、もう影響されてるし。だから嫌いなんだよ、マスコミって。

(Youtarou)

今月の高座



編集部



逆にインターネットって何?と思ってる人はけっこう多いかもしれません。ちなみに編集部の流行語は - 「人生考えちゃうな」22歳のYが忙しくて家に帰れないときに言う。「ターツ、何やってんだよ」ネットワーク管理者1が新人指導のときに言う。「抜本的に変えます」効率の悪さを追及されると口に出る言葉(おもにK)。変わったためしはない。



加入利用者数4千万人、約150か国とのコミュニケーションが可能、まさに地球上ほとんどすべての地域の人と情報交換ができるという、おそろべき「魔法の手」である。だが、待った。アリババと40人の盗賊でも何でも魔法には呪文というものが必要だということを忘れちゃいけない。そしてこのインターネットというマジックハンドを操るための呪文とは、あのイングリッシュなのである。('95日本新語・流行語大賞選定委員会の解説より抜粋)

Chatting!

声を聞かせて

去年から連絡が途絶えていた友人を探す手立てはないかと電話や手紙を駆使していたが、だめでした。勤務先へ連絡しても、個人情報には伝えられませんとかここにはいませんとかで、門前払い状態。そんなある日、彼の名刺を発見。名刺が、会社は連絡したい・・・ポイ?! ちょっと待て! E-MAILのアドレスがあるではないですか・・・っと、だめもとで彼にメールを送信すると3日後。久しぶり! 元気だった? っととほけたメールが、な、ななんとUSAはシリコンバレーからでした。事情を聞けば、急きょ転職になり、出向の身になっていたらしいです。なるほど、納得。まあ連絡が取れたからよしとしましょう。ほんと、何だか、インターネット本来の使い方をしたかなという気がしました。



(府中のせら)

私は慢性疲労症候群という病気と闘っている学生です。なかなか外出することができないので、このインターネットというのはまさに朗報でした。その中でも、CFS-Lメーリングリストは本当に病気と闘うための助けになっています。病気の研究がなかなか進まないの、患者同士が互いに情報を交換しあったり、新しい論文についてボランティアが投稿してくれたりもします。トラフィックは1日に60通ほどでとても活発です。やりとりはすべて英語です。少しきついですが、日本ではなかなか情報が得られないので、この病気を抱えている人にとっては必需品でしょう。なお、このメーリングリストはニュースグループのalt.med.cfsと連動しています。冷やかしかは困りますが、真面目な気持ちで参加されるなら十分益が得られると思います。ちなみに私は日本からの初めての参加者ということで、大歓迎されました。



(Taiga Aoki)

えらい! 何がえらいつて、価格値下げのことさ。くうー、えらいつ! もし、¥980になったら創刊号の半分以上だ。エライ! しかも、やることなすこと先進的だ。負けるな、頑張れ、くいくい進めーつ。



(牛島寿人)

We Love Internet Peopleの「声を聞かせてコーナー」って、もう少し、採用数増やしません?? インターネットポイント低くてもいいから。なんか、寂しいです。それとも、このメールみたいに内容のないメールが多くて採用できないとか。ゲッ!!



(牛腸吉紀)

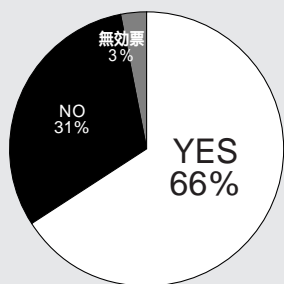
Thinking!

インターネットマガジン世論調査

テーマ

NTTは分割すべきか? <結果報告>

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>



インターネットマガジンでは、さまざまな社会問題について、より多くの個人の意見を聞いてみたいという趣旨のもと、WWWサーバー上で世論調査を実施中。政治・教育・風俗など、その都度ホットなテーマを設定して、皆さんのアクセスを待っています。お答えいただいた方全員に20iPを進呈します。

次のテーマ 1996年インターネットブームは続くか?

We Love Internet Peopleの宛先電子メールアドレスは

ip-box@impress.co.jp

WWW情報、インターネットに関する意見、面白い企画、何でもいいので送ってください。

インターネットポイント(P260)発行中。

INTERVIEW

あの人に会いたい!

ヤッホー、日記リンクスはここで生まれた 愛知県・豊橋技術科学大学の河合研究室



94年1月にWWWサーバーを立ち上げる河合研究室の河合和久先生が初めてWWWを見たのは、93年11月だった。研究室の大見嘉弘さん（現在は博士課程）と関根克聡さん（現在東芝勤務）が雑誌でWWWの解説を読んで、これは研究室で使えるのではないかと思い、河合先生にモザイクを見せたのだ。

「これは授業に使えると思いました。今まではプリントをコピーして学生に渡していたけれど、WWWに入れておけば、学生にそれを見るように言うだけでいい。すぐに、12月から講義に使えるようにするよう言いました」（河合先生）

大見さんと関根さんはすぐに作業を始め、94年1月にはWWWサーバーを立ち上げた。「その頃は日本国内ではまだWWWサーバーは数えるほどしかなかったと思います。SFC（慶応大学湘南藤沢キャンパス）ががんばっていて、研究室にいた関根がピープホールを始めた江渡さんとやりとりしたりしていました」（大見さん）これがWWWサーバー導入の第一段階だ。そして、WWWサーバーが自由に見られて、自分のホームページも作れる環境に入って

きた後輩たちがいろんなことを始めた。

大学や高専のサーバーを集めているうちにyahhoができる

近多泰宏さんのyahhoは、もともと大学のサーバーを探し始めたところからスタートしている。河合先生が豊橋技術科学大学もホームページを公開しようという話を大学の上層部に話していくことになり、その資料として学生にほかの大学のホームページを集めさせた。そのときは100程度の大学がリストアップされたが、その後、高専や小学校、中学校と広がっていった。そのうちに、ほかのジャンルにも広がっていき、今のような日本中のサーバーをカバーする形になったのだ。

今でこそ、ホームページを登録したい人は自動的に入れられるようになっているが、最初に探し始めた頃はけっこう大変だった。たとえば、小学校のサーバーを探す場合、通産省がやっている百校プロジェクトに参加している学校はすぐにわかるから、リストを参考にアクセスしていけばいいが、それから先はリンクをたどっていったり、県のサーバーからリンクしている小学校の

豊橋技術科学大学・河合研究室の名前は知らなくても、そのサーバーにアクセスしたことのある人は多いはずだ。ここには、日本版yahoo（ヤフー）として知られる「yahho（ヤッホー）」という日本中のサーバーを分類したページや、190以上の個人の日記にリンクしたページがある。どちらも今かなり人気が高く、深夜などインターネットが混雑している時間帯にはコネクトできないことも多い。

前列左から
河合和久さん（知識工学系助教授）
中村勝利さん（＼）
後列左から
高坂雅彦さん（修士課程）
近多泰宏さん（＼）
津田優さん（＼）
大見嘉弘さん（博士後期課程）

サーバーを探したりと地道な作業になる。

「いまは、自動的に入れられるようになったので、それほど手間はかかっていません。勝手に増えていっている状態です。自分で探す作業も最近はやっていません。でも、違うジャンルに入れてしまったからほかに移してくれというのがあったり、手間はけっこうかかります。本当はジャンルももっと考えて分けなければいけないと思うんですが、自分の詳しくないジャンルについてはわからない部分もありますし、なかなか大変です」（近多さん）

日記同士の会話も始まっている

もう一つの人気ページ、津田さんの日記リンクスはほんの偶然から生まれた。「最初は個人のホームページはあまり面白いところがなくて、日本語で読めるページは貴重な存在でした。しかも、毎日更新されるページというのは日記くらいしかないから、個人的に集めていたんです」（津田さん）

いちいち読みに行くのは面倒だから、自分のホームページにリンクを作った。それが日記リンクスの始まりだ。最初は10くら

いからスタートして、夏休みに留守にしている間に一挙に増えた。それ以降は自動的に追加ができるようにしたので、現在は190を超えている。

それにしても、インターネット上でこれだけたくさんの人が日記を公開して、しかもそれが1つのホームページにリンクされているのは、日本だけの現象ではないだろうか。年末には、書店や文具店に翌年の日記帳が並び、日本人は日記の好きな国民だと言われるが、その傾向はインターネットにまで出てきているのだろうか。

「今は190くらいですが、4月になったら、500くらいになるんじゃないかと期待しているんです。4月になると、大学の新生がインターネットのアカウントをもらって、自分のホームページが持てるようになる。そうなると、やることは日記を書くくらいしかない。日本人のメンタリティに合っている部分もあるでしょうね。それに、普通の日記は三日坊主になりがちだけれど、インターネット上だとしばらく書かないと、最近書きませぬなんてメールが来たりする」(河合先生)

考えてみると、ごく普通の人の日記が読めるというのはとても不思議なことだ。作家とか評論家、芸術家の日記を読む機会はあるが、面識のない普通の人の日記を読むという状況はインターネットでなければ考えられない。しかも、最近では日記リンクで互いに読んでいることを前提に、日記同士の会話まで行われているそうだ。これも、インターネットでなければありえないことだ。

インターネットで技術と経験を磨く

豊橋技術科学大学は、マスターやドクターを目指す全国の高等専門学校の卒業生の受け入れを主な目的として作られた大学だ。高専の学生は3年に編入する。ほかにもう1校、長岡技術科学大学がある。名前はそれほど知られていないが、教育のレベルも学生のレベルも高い。「近多君や津



河合研究室のホームページ
URL <http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/>

田君はマスターの1年ですが、そのくらいの時期はいろいろやってみたほうがいいと思うんです。インターネットをやっているのは勉強しているのか遊んでいるのかわからないという人もいますが、プログラムも書いたりしているようですから、そういったことで技術を磨くのもいいんじゃないかと思います」(河合先生)

サーバーに1日にどれだけアクセスがあればきつくなるかは経験してみないとわからない。そういうことでは、研究室の全員がインターネットをヘビーに体験しているのは、いろんなことに役立っている。河合先生にしても、学会や大学の会議で、WWWサーバーを新たに立ち上げるような話になったときには、自分の研究室での経

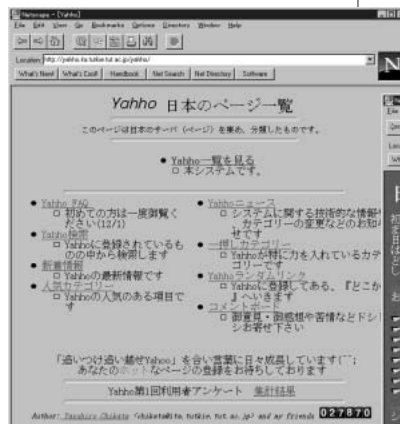
験が大いに参考になっているという。

また、現在河合研究室のホームページでは、講義の内容や学生のレポートなどを公開している。最近、オープンユニバーシティということが言われるが、こんな形でも情報公開をしていけば、いろんなことがもっと楽になるのではないかという考え方だ。河合先生は、一言断わってもらえば、講義の内容をほかで使ってもらってもいいと考えている。

「人に迷惑をかけなければ、学生のうちは何をやってもいいんじゃないかと思うんです。インターネットの情報発信について、どこで線を引くかは難しいんですが、とりあえず著作権に触れるもの、他の人を中傷するものは出さないように、そこさえ押さえておけば、いいんじゃないでしょうか。我々のような計算機を専門にしている者がやるべきことはきちんとやらないと、計算機が専門の人がやっているからということになります。その意味でも気をつけないといけないですね」(河合先生)

研究室には4年生から入るが、河合研究室ではインターネットで面白いことができそうだという話が広まっていて、すごい人気だそうだ。このサイトからは、これかもユニークなページが生まれてきそうだ。

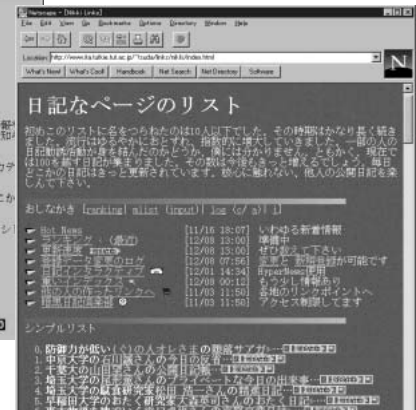
(取材・文 / 鈴木康之)



日本のヤッホー
URL <http://yahoo.ita.tutkie.tut.ac.jp/yahoo/index.html>

日記リンクス

URL <http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/tsuda/links/nikki/index.html>



NetSerfing!

読者が作るイエローページ

最近好調なサーファーは山本恭弘さん。いつも楽しい情報をありがとう。Makoto Morikawaさんはシカケモノのサイト情報いつもありがとう。今月の1点勝負は藤長千香子さん。2000iPおめでとう。



幽霊監視サーバー

1996年のカレンダーを作る

URL <http://www.intellinet.com/CoolTools/CalendarMaker/>

HTML3以上でTable tagが使えますが、これを利用して、カレンダーのフォーマットを作成してくれるページがあります。自分の希望する年と月をいれるだけでカレンダーを作成してくれますので、そのソースをいだければ、中に予定なども記入できます。使い方次第ではけっこう便利なページです。



(Makoto Morikawa)

バーコードサーバー

URL <http://www.tippecanoe.com/barservr.htm>

入力した文字をバーコードにエンコードしてジェネレートしてくれるサーバーを見つけました。バーコードは11種類から選択できますが、コードごとに表現できるキャラクターの範囲が決まっているので、requirementsで確認しましょう。桁数は最大20桁まで。出力はビットマップイメージファイルです。ダウンロードしたイメージは、レーザープリンタで出力すれば十分読み取りが可能です。ほかにバーコード

のジェネレートソフトのダウンロードもできます。自分の名前をバーコードにしてみるのも一興かと。



(Akira Kurita)

麻雀理論

URL <http://www.leopard.t.u-tokyo.ac.jp/hosokawa/jong/jong.html>

東大の院生の細川さんのホームページですが、確率論から麻雀を論じています。三色目の残っているピンフ手の場合にリーチとダマとどちらが得か、凡人にはまるで理解できない数式によって理論が展開されます。こういう人を「日本の頭脳」と呼ぶのでしょうか。



(Kazuaki Takahashi)

幽霊監視サーバー

URL <http://www.users.interport.net/fly/Houston/GhostWatcher/index.html>

幽霊が出るところに監視カメラを設置してインターネットで流しているサイトがあります。カメラは、5台設置してあります。5台全部のカメラを見ることもできます。

(幸島茂)



産地直結のお米のホームページ

URL <http://www.urban.or.jp/home/okumo.to/>

産地直結のお米のホームページにて低農薬・有機栽培のお米を販売しています。種類は新潟・魚沼産「こしひかり」、岩手・江刺産「ひとめぼれ」、宮城・栗原産「ささるまん」の3種類です。お値段は普通の米に比べると少し高いですが、味はまちがいないと思います。ぜひ一度のぞいてみてください。



(Hisao SHIBUYA)

アメリカの求人情報のサイト

URL <http://www.careerpath.com/>

レジストすると検索機能が使えます。電子メールだけの登録なので簡単ですが、私はcomの付くアドレスで登録しました。解説によると、アメリカの6大メジャー誌が共同でWEBを立ちあげているようです。ポストグローブ、シカゴトリビューン、ロサンゼルスタイムズ、ニューヨークタイムズ、ワシントンポスト、サンノゼマーキュリー。この中から一紙を指定し、職種を選択して検索すると該当する職種の求人情報が読めます。かなり優れていると思います。日本の求人広告はまず社名が大きく出て、いかにもブランドから選ぶという作りですが、あくまでも個人の専門を優先する作りなので興味深いものがあります。



(地武 豊)

Britannica Online

URL <http://www.eb.com/>

インターネット上の百科事典です。百科事典の記事を検索することができるのは、会員(年会費150ドル)だけですが、無料のデモ機能もあります。Biographies by Birthdayは、百科事典に載っている歴史上の人物や有名人を誕生日や年齢で検索できるページです。誕生日を指定すると、名前と簡単な伝記記事がリスト表示され、会員ならリスト中の名前や生年をクリックすると、詳しい記事やその年の出来事などが調べられます。私と同じ誕生日には、岸信介(1896)や聖アウグスチヌス(354)がいました。そんな人たちと肩を並べるのは恐れ多いので、百科事典にのるようなことをするのはやめておきます。

(藤長千香子)



impress.co.jp

TOP 10

発表!

iPインターネットポイント長者番付

【1995年12月3日現在】

WWWサイト1つに100iP、本誌に掲載されれば1000iP以上。We Love Internet Peopleのコーナーを支えている投稿者たちをiP所得高順に紹介しよう。

1位 20728iP

いつも記事の企画を送ってくれる
Yuji Sasakiさん。

2位 14300iP

読者が作るイエローページの常連
早稲田大学の立川宗之さん。

3位 10000iP

CU-SeeMe大会常連三重大学「医学インターネット研究会」のメンバーの方。

4位 7480iP

FUJINAGAさん。「世界人口」のサーバー情報はとても気に入りました。

5位 7270iP

優れたWWWサーバー情報をすばやく送ってくれる琉球大学の小渡さん。

6位 6760iP

「Chatting! 声を聞かせて」の掲載で稼いだ北野明さん。

7位 6620iP

マニアックなサイトも発見してくれる
AniyaさんことYutaro Kuwataさん。

8位 6300iP

asahi-net.or.jpの方。投稿内容を調べましたがわかりません。とにかくおめでとう。

9位 6240iP

北里大学の「まえたん」は、美男美女大会をはじめCU-SeeMeに2回登場。

10位 6230iP

NECの中野英一さんはHotJavaやVRMLの最新ツールを使ったWWW情報が得意。

このデータは95年12月3日現在の持ち点順。すでに景品引き換えで消費されたポイントは考慮していない。iPをためる裏技は、1つのアドレスにみんなで送金してためるグループ作戦。iPの詳細は252ページを見てね。

今月の新着ドメイン情報

FUREAI. OR. JP

ふれあい情報通信網株式会社様
ふれあいインターネットサービスという名の新しいプロバイダー。

KONPIRA. OR. JP

宗教法人金刀比羅宮様。
宗教法人でドメインをもつところはけっこう多い。

BIGMAC. CO. JP

日本マクドナルド株式会社様。
お腹がすきそうな納得のドメイン名。

INTERNET. OR. JP

大阪府・豊中市ホプムン・インターネット様。
ドメインは早いもの勝ちです。



ネットワークとライブがクロスするNTTパワーネットVOL.1 始まる

テーマはgroove@light speed



電話、FAX、インターネット、FM番組をチャンネルにしたオンラインのイベントと、トークやライブのオフラインイベントをクロスさせて、95年春から夏にかけて開催されたNTTパワーネットVOL.0。その続編NTTパワーネットVOL.1.0が、95年12月10日からスタートしている。今回は高城剛とhitomiを迎えて、3月までイベントを展開する。内容は以下のとおり。

オンラインイベント
インターネットチャンネルはhttp://www.ntt-ad.co.jp/ntt-powernet/
ホームページでは、hitomiの音声データを登録、それを作ったジングルを募集する。応募作品の中からイベントやFM番組で使えるジングルを選ぶ。締め切りは1月31日。また、インターネットチャンネルにアクセスした人をメーリングリストに登録し、WEBの新着情報のお知らせや、暗号化技術を使ったプレゼント提供を行う。ほかに電話・FAXのチャンネルはTEL03-3663-7701

オフラインイベント
1月27日午後5時から1週間、体験型イベント「EXPERIENCE」が開催される。東京・渋谷ビームに15台のアクセスマシンを設置し、専用のナビゲーターのもと、インターネットへのフリーアクセスができる。また、情報ハイウェイの中の音楽についてhitomiと高城剛によるト

ーク、DJによるワークショップなど。さらに、2月はパワーネットチャンネルに寄せられたアイデアを反映させたライブを予定している。



前回に引き続き、今回もブレインを務める高城剛

NTTドコモのCMソング「We are Lonely Girl」がヒット中のhitomi





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp